

朝倉氏の歴史講座

戦国期美濃後斎藤氏の権力構造

道三から義龍・龍興、そして信長へ

戦国時代、越前朝倉氏は隣接する美濃後斎藤氏、近江浅井氏、六角氏といった“中部大名”たちとのパワーバランスの中で権力を維持させていました。

後斎藤氏の政治過程と特質を知ることは、朝倉氏権力の相対的な位置づけを可能にします。本講座では最新の美濃後斎藤氏研究の成果を解説します。

『国盗り物語』から約半世紀、美濃の戦国史はここまで解明されてきています。

■第1回 10月30日(日)

道三の覇権確立過程と義龍との二重権力

■第2回 11月 6日(日)

義龍期の改革—斎藤六人衆体制と一色改姓—

■第3回 11月13日(日)

龍興期の外交と家臣団編成

【時間】 14:00～15:30

【場所】 一乗谷朝倉氏遺跡資料館 講堂

【講師】 石川 美咲 (当館学芸員)

各回聴講可・無料